

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人・ぐるーぷほーむ理念は、ほーむ内に掲示しており、職員は年に数回、理念教育が行われています。理念を常に思い行動ができるように努めています。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	資源ごみ出し、ゴミ拾い、お祭り、盆踊り、ふれあい祭りなど、地域行事には積極的参加しています。月に一回の通信配布も行い、地域の方との交流が持てるように努めています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の行事に利用者様と参加することで認知症を理解していただけるようにしている。 現在は4ヶ所で認知症カフェを実施している。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1度、ご家族・地域の民生委員・婦人会・老人会・行政職員の方々に参加していただき、ほーむでの出来事を報告し日々の生活をDVDや通信を見ていただきご意見や要望をお聞きしています。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	キャラバンメイト、運営推進会議、地域密着型事業者連絡会等で交流がある。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	外部の研修に参加し、その後ぐるーぷほーむ内で、勉強会を行って、周知徹底に努めています。身体拘束をしないケアを、正しく理解し、不適切なケアにならないよう管理者・スタッフで、確認しながらケアを行っています。		

ぐるーぷほーむ 福の神 福介ユニット

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部研修に参加したり、ぐるーぷほーむ内での勉強会を開く等、学ぶ機会がある。管理者・リーダーはほーむ内で虐待が行われていないか、常に注意している。利用者様の身体の変化、職員の精神状態にも気を配っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部研修で学ぶ機会はある。日常生活支援事業・成年後見制度については、全スタッフが理解までおよんでおらず、今後、該当利用者様が入所された時は、活用出来るように学んでいきたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご利用前にはほーむの見学をしていただいております。管理者が十分な説明を行っていると感じている。契約に関しては管理者が行っています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様の面会時には、日々の生活、健康面等をお伝えしています。ご家族様が要望や意見の言いやすい環境、関係作りに心掛けています。玄関には、ご意見箱を置いています。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ユニット会議にて、意見を伝えることができる機会があり、反映に努めて頂いていると感じている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	様々な外部研修への参加、事業所内での勉強会など、学べる機会を作っています。向上心を持って働けるような職場環境づくりに努めて頂いていると感じている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外での研修、リーダー会議、理事長自らの理念教育など、研修の機会が多く設けられています。スタッフ一人ひとりに細やかな気配り、声掛けをして頂いています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	ぐるーぷほーむ部会の、研修、懇親会など積極的に参加している。		

ぐるーぷほーむ 福の神 福介ユニット

自己	外部	項目	外部評価	
			自己評価 実践状況	実践状況 次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人様の、思いや、困っている事、不安に思っている事を言いやすいスタッフ、環境作りに心掛けています。声の大きさ、口調などにも気をつけています。	
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様が困っている事、不安に思っている事を話やすい環境作り、今後、ほーむでの生活に安心して頂けるように努めています。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初期の対応は、管理者、ケアマネがおこなっています。その後、その方にとって、どのような支援が必要か、スタッフ間で話し合い支援しています。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様には、それぞれ有する力を、発揮して頂き、お互い支え合った生活が出来るように心掛けている。料理、畑仕事、仏事等アドバイスを受けながら、協力し合っている。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	地域行事等には、一緒に参加して頂けるように声をかけている。病院受診は、ご家族様にお願いしています。	
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人様の、馴染みの場所、行きつけの美容院など、日頃の会話や、ご家族様から情報を得ています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様の性格、関係を、スタッフ間で共有し、一人ひとり孤立しないように配慮しています。利用者様同士いたわり合っている場面もあります。トラブルがあれば、スタッフが間に入り対応しています。	

ぐるーぷほーむ 福の神 福介ユニット

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	長期入院される方には、お見舞いに行ったりしています。ご本人、ご家族様から、相談事があれば、いつで応じます。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日頃の会話や関わりの中から、ご本人様の希望を把握し、ライフサポートプランを通して話し合いをするように努めています。ご本人様本位に話合っています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人様、ご家族、兄弟、親戚の方々より、生活環境、馴染みの場所、以前の生活等、情報を得ています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎朝の申し送り等で、利用者様の体調、心身状態の確認をして、情報を共有しています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ライフサポートプランを取り入れています。ご本人様の発した言葉から、思いを知り計画を立てています。その思いを、ご家族様にも理解して頂き、協力が得られる様につとめています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者様の日々の様子などを記録し、スタッフ間で共有をしています。その中で、気付いた事、疑問に思った事などは、考察に挙げ、皆で話し合っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	美容院、病院受診の付添、冠婚葬祭などに生まれるニーズに対応しています。		

ぐるーぷほーむ 福の神 福介ユニット

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域内の事業所、学校等に、毎月福の神通信を、利用者様と一緒に配り、会話の中から、地域の資源の情報を貰い、繋げられるように努めています。ほーむのは、週1回ヤクルト、パンを販売に来られ、買い物を楽しまれています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人様、ご家族の希望を確認し、かかりつけ医と事業所の関わりを密にし、適切な医療を受けられるように努めています。受診時には、ほーむより、ご本人様の日頃の様子を、手紙に書き、主治医にお伝えしています。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	急な体調の変化等があったときは、看護職に、連絡、相談が出来る体制になっています。介護職と看護職が常に、利用者様の体調等共有するように努めています。介護職も、受診に同行しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、病院にわ、情報提供を密に行い、入院中は経過、病状を把握するようにしている。退院時には、経過、サマリ等で情報を頂いている。ソーシャルワーカーの方と連絡を取り合い、医師、看護師からアドバイスを頂き、相談にのって頂いている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	早めに状態を把握し、ご本人様の思い、ご家族様の思いを知り、スタッフ間で出来る事、方針を共有し、チームで取り組めるように努めています。医師を交えて十分に、カンファレンスも行っています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	外部研修、ほーむ内では、看護師による勉強会を行い学んでいます。消防署の講習会にも参加し、応急手当、初期手当が出来るようにしています。		
35	(13)	○緊急時等の対応 けが、転倒、窒息、意識不明、行方不明等の緊急事態に対応する体制が整備されている	緊急事態時のマニュアル、緊急連絡網が、整備されている。夜勤帯で不安な時は、何時でも、看護師、管理者に、連絡が取れる体制をとっている。お多富久ユニット、たきのほーむスタッフとも、連携を取り応援要請が出来るようにしている。		

ぐるーぷほーむ 福の神 福介ユニット

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	(14)	○バックアップ機関の充実 協力医療機関や介護老人福祉施設等のバックアップ機関との間で、支援体制が確保されている	医療機関や、グループ内での、支援体制がある。急変時には、早急に対応していただいています。		
37	(15)	○夜間及び深夜における勤務体制 夜間及び深夜における勤務体制が、緊急時に対応したものとなっている	お多富久ユニット、たきの一ほ一むにそれぞれ一名夜勤者がいます。直ぐに連携が取れるようになっています。緊急時には、24時間体制で看護師、管理者に、連絡が取れるようになっています。		
38	(16)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、避難訓練を行っています。地域の訓練にも、利用者様と一緒に参加させて頂きました。それでも、訓練は、まだまだ必要だと感じています。		
39	(17)	○災害対策 災害時の利用者の安全確保のための体制が整備されている	施設の防災機器は、定期的に点検を行っています。落ち着いて行動が出来るように心掛けます。安全に速やかに、避難できるように、訓練には積極的にさんかします。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
40	(18)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりを尊重し、声掛けや態度には気をつけています。入浴、排泄時などには、声の大きさ、言葉つかいに気を付けています。個人情報了他者に伝えないように心掛けています。申し送り時の、声の大きさには、十分配慮しています。		
41		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	話しやすい環境作り心がけています。利用者様の言葉に耳を傾け、じっくりと話を聞き、利用者様の想いに添えるように努めています。ご自身の事は、ご自身で決めて頂けるように、支援しています。		
42		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりに合ったペースを大切に、その日の、体調に合わせて、どのように過ごしたいか聞き、支援するように努めています。支援、対応については、スタッフ間で、話合っています。		

ぐるーぷほーむ 福の神 福介ユニット

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その日に着たい服、を選んでいただいています。馴染み美容院がある方は、定期的に通い、好みの髪型にされています。		
44	(19)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日、利用者様と一緒に買い物に行っています。食べたい物、旬の物を買ってきて、下ごしらえ(皮むき、野菜切り)など、一緒に行っています。調理、味付け、後方付けなども、一緒に行っています。利用者様が持つ力を発揮して頂いています。		
45		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者様に合った量、形状についても、配慮している。声かけし、水分摂取に努めています。		
46		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一人ひとりの習慣や力に応じて、歯磨き、義歯の手入れ、うがいなど促して、口腔内の清潔保持に心掛けています。		
47	(20)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを知り、プライバシーに配慮した声掛けで、トイレにお誘いしています。		
48		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事や飲み物に工夫し、オリゴ糖、食物繊維の多い野菜を摂れるに心掛けています。散歩の声掛けも行っていきます。		
49	(21)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	ご本人様の生活ペースに合わせて、体調の良い時に、入浴出来るように努めています。体調不良時は、清拭、陰部洗浄、足浴などを行い、清潔保持に努めています。		

ぐるーぷほーむ 福の神 福介ユニット

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人様のペースに合わせ、生活習慣、その時の状況に合わせ、眠い時にはすぐに、居室やソファなどで横になれるように、環境を整えています。		
51		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬情報を一冊にファイリングしてあり、どのような薬を服薬しているか、確認出来るようにしてあります。看護師からの説明もあり、理解、把握している。		
52		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの、好み、趣味、生活歴を把握しドライブ、地域行事、畑仕事などに参加して頂いている。ドライブする事で気分転換ができるように支援しています。		
53	(22)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	一人ひとりのその日の希望、普段は行けない場所には、スタッフ間で、話し合い外出、出来るように努めています。花見、海、紅葉狩り、墓参りなども支援しています。ご家族様にも協力頂き、外出しています。		
54		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	おこずかいの、必要性をご家族様に、理解頂き、お預かりさせて頂いています。お出掛けの機会を通して、本人の希望、力に応じてお支払いをして頂いています。		
55		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様にご理解頂き、ご本人様がかけたい時は、電話を掛けています。		
56	(23)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関は、和風をイメージし、季節の花を飾るなどし、季節感が味わえるように、工夫しています。居間、居室には、温度計、湿度計を置き、加湿器も使用しながら、心地よい、温度、湿度になるように、心掛けています。こたつは車椅子の方でも、入れるこたつを使用しています。居間の障子を上げ下げでき、中庭が、眺められるようになっています。		

ぐるーぷほーむ 福の神 福介ユニット

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
57		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居間と仏間とでわかれており、襖で仕切ることが出来ます。気の合った利用者様同士が、一緒に過ごす事が出来、椅子などはすぐに動かすことができます。歌番組を楽しんでおられる方もおられます。			
58	(24)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	今まで使用していた物を持ってきていただき、ご本人様、ご家族様と相談しながら、その都度工夫し、置き場所などを、確認しています。			
59		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	必要なところには、手すりがついています。各ユニットトイレは4か所あります。			